

2006年

9

月号

組合会報

〈発行所〉
埼玉県鍍金工業組合
〒331-0811

さいたま市北区吉野町2-222-7

TEL 048(666)2184

FAX 048(652)7631

〈発行人・理事長〉

吉田 勇

〈編集人・総務委員長〉

柿沼信夫

—今月号の主な内容—

第41回通常総会開催される.....	2	S A I T E C技術フェア開催.....	5
全国鍍金工業組合 18年度通常総会.....	3	基盤技術の高度化支援.....	6
さいたま環境フォーラム2006開催.....	4	中央環境審議会答申について 一環境省一.....	7

平成18年度 人材確保推進事業



126号

(埼玉県防災学習センター)

第41回通常総会開催される

埼玉県鍍金工業組合 理事長 吉田 勇

埼玉県鍍金工業組合（吉田勇理

事長）は、平成18年5月26日（金）「大宮サンパレス」において午後1時30分より組合員、賛助会員、来賓、多数の出席で第41回通常総会を開催した。

柿沼信夫総務委員長の司会で行われ、野口武副理事長の開会の辞で始まり吉田勇理事長が次のように挨拶した。

柿沼信夫総務委員長の司会で行わ�、野口武副理事長の開会の辞で始まり吉田勇理事長が次のように挨拶した。

大企業と中小企業、又中小企業の中でも好調なところと、そうでないところ、地方と首都圏といつた格差が大きく拡大して来ておりま

す。

グローバル化という名の資本原理導入によるといわれておりますが、日本個有の土壤に馴染むものか疑問を感じるところがあります。私達組合におきましては昨年度2社の脱退がありました。新たに2社の加入があり組合員数の減少はかろうじて現状維持となりました。ちなみに全鍍連においては昨年度は61社の減少となっております。こういった減少傾向は景気の好転にもかかわらず、今後も続

くものと危惧しているところです。

40年の歴史を経て、新たな歩みを始めました。このところ日本経済は良好な状況にあることは諸々の経済指標からも伺うことができるが、一連の改革は格差を増幅させ、大企業と中小企業の中でも好調なところと、そうでないところ、地方と首都圏といつた格差が大きく拡大して来ておりま

す。

拾数年賦課金を据置き、事業収入でカバーして来ましたが、組合数の半減といった構造的な問題もあり、いよいよ事業収入に依存することも限界に達したと思っております。

できるだけ低コストで組合運営を行なう姿勢は当然ながら、今後も続けて行きますが厳しい状況に置かれている実情を組合員皆様には理解いただき本年一年をかけて賦課金の改訂をお願い致しました。規制値は2 ppmでありますが我々業界には5年間の暫定規制値5 ppmが適用されます。

暫定規制値を確保できたのは全鍍連として多くの資料をもつて環境省へ働きかけた結果であります。今後新たな規制問題が発生する

ことも考えられますので各事業所宛の調査資料の提出にはよろしくご協力の程お願い申し上げます。

さて、この4月には水生生物保全のための新たな排水規制が決まりました。我々に関する項目としては亜鉛があります。規制値は2 ppmであります。もとより経済事業には力を入れていますが、特に分析事業は組合員皆様の協力がなくては成り立ちませんので、従来に増して排水分析にご協力のほどお願い申し上げます。

続いて議案審議に入り、議長に島村周作氏、書記に小松原秀元氏が指名され、議事に入つた。



大企業と中小企業の中でも好調なところと、そうでないところ、地方と首都圏といつた格差が大きく拡大して来ておりま

す。

グローバル化という名の資本原理導入によるといわれておりますが、日本個有の土壤に馴染むものか疑問を感じるところがあります。私達組合におきましては昨年度2社の脱退がありました。新たに2社の加入があり組合員数の減少はかろうじて現状維持となりました。ちなみに全鍍連においては昨年度は61社の減少となっております。こういった減少傾向は景気の好転にもかかわらず、今後も続

くものと危惧しているところです。

40年の歴史を経て、新たな歩みを始めました。このところ日本経済は良好な状況にあることは諸々の経済指標からも伺うができるが、一連の改革は格差を増幅させ、大企業と中小企業の中でも好調なところと、そうでないところ、地方と首都圏といつた格差が大きく拡大して来ておりま

す。

拾数年賦課金を据置き、事業収入でカバーして来ましたが、組合数の半減といった構造的な問題もあり、いよいよ事業収入に依存することも限界に達したと思っております。

できるだけ低コストで組合運営を行なう姿勢は当然ながら、今後も続けて行きますが厳しい状況に置かれている実情を組合員皆様には理解いただき本年一年をかけて賦課金の改訂をお願い致しました。規制値は2 ppmでありますが我々業界には5年間の暫定規制値5 ppmが適用されます。

暫定規制値を確保できたのは全鍍連として多くの資料をもつて環境省へ働きかけた結果であります。今後新たな規制問題が発生する

ことも考えられますので各事業所宛の調査資料の提出にはよろしくご協力の程お願い申し上げます。

さて、この4月には水生生物保全のための新たな排水規制が決まりました。我々に関する項目としては亜鉛があります。規制値は2 ppmであります。もとより経済事業には力を入れていますが、特に分析事業は組合員皆様の協力がなくては成り立ちませんので、従来に増して排水分析にご協力のほどお願い申し上げます。

続いて議案審議に入り、議長に島村周作氏、書記に小松原秀元氏が指名され、議事に入つた。

暫定規制値を確保できたのは全鍍連として多くの資料をもつて環境省へ働きかけた結果であります。今後新たな規制問題が発生する

ことも考えられますので各事業所宛の調査資料の提出にはよろしくご協力の程お願い申し上げます。

さて、この4月には水生生物保全のための新たな排水規制が決まりました。我々に関する項目としては亜鉛があります。規制値は2 ppmであります。もとより経済事業には力を入れていますが、特に分析事業は組合員皆様の協力がなくては成り立ちませんので、従来に増して排水分析にご協力のほどお願い申し上げます。

続いて議案審議に入り、議長に島村周作氏、書記に小松原秀元氏が指名され、議事に入つた。

全鍍連においても状況はやはり同じで昨年度賦課金値上を確定いたしました。国の政策変更で団体に対する補助、あるいは助成が削減され、その分賦課金への依存率が高まって来た結果であります。

環境問題等における国への働きかけを実施していくには全鍍連の現体制はギリギリの規模でもあり、現状維持のもと値上が承認された訳であります。

平成17年度事業報告として総務委員会関係を柿沼信夫総務委員長、環境保全対策委員会関係を大塚一弘環境保全対策委員長、技術教育委員会関係を今井昭雄技術教育委員長、組合本部関係を小林満専務理事がそれぞれ報告し、以上の事業報告に伴う収支決算報告を同じく小林専務理事が行ない、小築憲一、小林康男両監事が監査報告を行ない満場拍手で承認した。

平成18年度事業計画案並びに予算案の審議に入り、基本計画について小林専務理事が説明、また総務委員会はじめ各委員会関係の事業計画案をそれぞれ担当の柿沼信夫、大塚一弘、今井昭雄各委員長が説明され、同計画案に伴う予算案を小林満専務理事が説明し、満場拍手で承認した。

さらに借入金最高限度額決定の件、その他について報告事項を小林満専務理事より説明され、本総会における議案審議は満場一致で可決承認した。

来賓のご祝辞は、さいたま市環境経済局環境部次長調整担当吉永洋治様、つづいて埼玉労働局労働

基準部安全衛生課長熊谷一彦様、最後に山本正宏副理事長より閉会の辞で通常総会を終了した。

懇親会を3階に移して仁科俊夫総務副委員長の司会で始められ主催者を代表して吉田勇理事長が挨拶、次いで埼玉県中央労働商工センター所長小川俊夫様、埼玉県議会議員奥ノ木信夫様、埼玉県中小企業団体中央会事務局長柏木昭寿様、日本硬質クロム工業会会长藤田茂雄様が挨拶され、島村周作常任顧問理事の乾杯で祝宴に入った。

平成18年度 基本方針

平成18年度事業計画案（大村功作会長）は、平成18年度通常総会及び理事会を5月29日（月）午後1時半より東京港区芝公園の機械振興会館6階会議室において全国の都道府県工業組合理事、役員の推進

産業廃棄物最終処分場解決へ

アクトサイダーの組合加入促進

土壤汚染対策

6 事業継承の為の諸条件の改善
及び若手人材の育成

7 情報収集活動の推進

8 土壤汚染対策

9 全国鍍金工業組合連合会

10 本年度の主な事業計画

18年度通常総会



- | | | | | | |
|------------------|----------------------------|-----------------------|-----------------|---------------------------|-------------------|
| (1) 重点事業 | (2) 1 中小企業ものづくり基盤技術の高度化の支援 | (3) 2 中小企業人材確保推進事業の推進 | (4) 3 環境保全対策の推進 | (5) 4 特化則の周知徹底、作業環境改善指導推進 | (6) 5 新技術の開発研究の推進 |
| (7) (8) (9) (10) | 亞鉛に関する水生生物保全の大気排出規制への対応 | 揮発性有機化合物（VOC）の対応 | 環境整備優良事業所表彰 | 全国めつき技術コンクールの開催 | 情報収集、提供及びPR活動の実施 |
| | 電気めつきガイド2006年度版の普及 | | | | 組合員及び賛助会員増強活動の推進 |

後1時半より東京港区芝公園の機械振興会館6階会議室において全

国の都道府県工業組合理事、役員の出席により開催した。

岸賞表彰式が行なわれ受賞者の京都鍍金工業組合副理事長（東京上洋一氏）が紹介された。

川上洋一氏（全鍍連常任理事、東京都鍍金工業組合副理事長）が紹介された。

京都鍍金工業組合副理事長（東京上洋一氏）が紹介された。

平成18年7月19日（水）

常任理事会・理事会開催

場所 組合会議室（理事会出席者18名）

吉田理事長の挨拶

年間行事予定表の配布

1 土壤汚染対策について

2 賦課金改定について

賦課金改定特別委員会の設置：平成18年12月までに結論（組合三役、各支部長、監事）の委員構成で開催予定

平成18年10月6日（金）於 鬼怒川温泉

ホテルニュー岡部

● 地域工業広域連携・交流会の開催について（案）

埼玉県地域商工業支援課 地域工業支援担当主幹 萩 豊様より説明

● 目的 機械金属関係事業者間の企業交流・情報交換を促進する

日時 平成18年9月

会場 さいたま新都心8番館

募集 20人程度

各委員会報告

柿沼信夫総務委員長より

大塚一弘環境保全対策委員長より

今井昭雄技術教育委員長より

分析室の改装について

（小林専務理事より）

全鏡連報告

（野口武副理事長より） 中小企

業ものづくり基盤技術の高度化

に関する法律案の支援体系

出席率について

監事監査に係る組合訪問



法人雇用能力開発機構監事渡部恕
寛氏、独立行政法人雇用能力開発
機構埼玉センター統括所長藤村憲
治氏、独立行政法人業務第一課長

中牟田誠氏が訪問された。

組合より野口武副理事長、小林
満専務理事、柿沼信夫総務委員長
が出席して監事監査に係る訪問を
受けた。

最初に野口武副理事長より埼玉
県鍛金工業組合の現状及び「06年
度電気めつきガイド」の説明のあ
と、続いて小林満専務理事より人
材確保推進事業の経過説明や雇用
に関する組合員の現状についても
説明した。その後質疑応答も含
め約1時間にわたり懇談した。

平成18年6月23日（金）
さいたま環境フォーラム2006

6月がラフレさいたま櫻ホールで盛
大に開催。

より組合会議室において独立行政
法人雇用能力開発機構監事渡部恕
寛氏、独立行政法人雇用能力開発
機構埼玉センター統括所長藤村憲
治氏、独立行政法人業務第一課長
中牟田誠氏が訪問された。

法人雇用能力開発機構監事渡部恕
寛氏、独立行政法人雇用能力開発
機構埼玉センター統括所長藤村憲
治氏、独立行政法人業務第一課長
中牟田誠氏が訪問された。

さいたま 環境フォーラム 2006開催



さいたま環境フォーラム2006

6月は市民に環境問題を知っていた
だくための学習の場として、また
市民、事業者、行政がそれぞれの
立場で行っている環境保全への取
り組みの周知と情報の交流、交換
の場として自主的な環境保全への
取り組みを推進していくことを目
的としている。

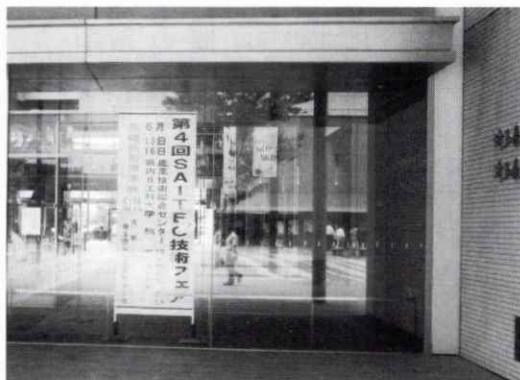
併せて同時開催されるエコアジ

ア2006の機会を利用し、本市における取り組みを国際的にPRしていく。

当日は「暮らしの中から見た環境問題」と題して青森大学教授見城美枝子氏の基調講演が行なわれ、その後パネルディスカッションが行なわれた。

コーディネーターには見城美枝子氏、パネリストにはさいたま市環境会議会長元智子氏、大正製薬株式会社生産本部参事内田隆氏、さいたま市立春野小学校長野口一夫氏、さいたま市技監都市局長浦田啓充氏。

又6月23日(金)24日(土)の両日は(AM10:00~16:00)「環境コラボレーション」がさいたま新都心駅、自由通路で開催され、学校環境活動団体、事業者による環境保全等への取組についてのパネル展示、クイズ、スタンプラリー等が行なわれ多数の市民でにぎわった。



SAITEC

技術フェア開催

「SAITEC技術フェア」より
亜鉛めつき用3価クロムートの耐
食性の向上に関する研究

高橋誠一郎、鈴木昌資、原口靖
史、千葉昌吾、手塚紀親

研究の背景

亜鉛めつき後の化成処理であるクロメート処理は、安価で優れた

耐食性能を有し、従来から亜鉛め

つき以外でもアルミニウム・マグネシウム合金の防錆・塗装下地処理等として行われてきた。しかし、主成分の6価クロムは、RoHS等により、世界的に規制対象とな

	No. 4 2.31g/l	No. 5 4.62g/l	No. 6 9.24g/l	No. 7 13.86g/l
表面状態				
塩水噴霧試験結果				
白鈍発生時間	14.4時間	16.8時間	16.8時間	16.5時間

表3 溶浴温度と表面状態

	No. 8 20°C	No. 9 30°C	No. 10 40°C
表面状態			

試料の表面状態及び塩水噴霧試験結果

ついている。そこで、その代替として硝酸クロムなどの3価クロムを主成分とした3価クロムート処理剤による方法が行われている。すでに、自動車部品関連を中心に生産量も増加の傾向にあり、今後、この処理方法が主流になると予想される。

1 目的

3価黒色クロムートにおける耐食性の向上を図るため、クロメート処理した試料に3価クロム系仕上剤を使用し、処理条件と耐食性の関係について検討を行った。

2 研究内容

黒色クロメート処理後の仕上処理により、クロメート皮膜を改質し、耐食性の向上を図った。なお、一般的に仕上処理に使われる仕上剤の種類としてはクロム系・ノンクロム無機系、ポリマー・シリカ混合系などが開発されているが、今回はクロム系仕上剤を用いて、耐食性を高めるための最適な処理条件について検討を行った。

塩水噴霧試験の結果は、クロム濃度が高くなるにつれ、従来からある亀裂を埋める改質作用と、クロメート皮膜をさらに厚くする効果があると考えられる。

塩水噴霧試験の結果より、クロム濃度が少ないと、試験終了の168時間後も白錆が多くた。クロム量の多いNo.7では、白錆の発生までの時間はNo.5やNo.6と変わらないが、168時間では白錆の発生量が多かつた。この試験条件の中でも一番耐食性が良好であったのはNo.6であった。微細な亀裂が改善され、耐食性が向上していた。

3 結果・考察

図の表面状態の写真より、クロム濃度が高くなるにつれ、従来からある亀裂を埋める改質作用と、クロメート皮膜をさらに厚くする効果があると考えられる。

埼玉県産業技術総合センター
〒339-0844 川口市上青木3-12-18
TEL 048(265)1312
FAX 048(265)13334
E-mail:staka@saitec.pref.saitama.jp

材料技術部 高橋誠一郎

4 まとめ

3価クロム系仕上げ剤中の3価クロム濃度の増加に伴って、仕上げ剤の作用により皮膜が厚くなり、その結果耐食性が向上した。

問合せ先

主に中小企業が担うめつき、鋳造等の基盤技術の高度化に向けて、川下産業のニーズに対応した基盤技術の高度化戦略（技術別指針）を国が策定し、この指針を踏まえ

十八年度予算六十四億円）
た、革新的かつハイリスクな研究開発や、生産プロセスのイノベーションを実現する研究開発を支援することとしております。（平成

中小企業ものづくり 基盤技術の 高度化支援

経済産業省は中小企業のものづくり基盤技術の高度化を支援するため「中小企業のものづくり基盤技術の高度化に関する法律」の法律です。

本法は平成十八年四月二十六日公布六月十三日施行されました。

我が国製造業の国際競争力の強化及び新たな事業の創出を図るため、

ものづくりの基盤技術が国際競争力の要

1 ものづくりでの日本の優位性を守る

- ・ものづくり分野で中国や韓国のキャッチアップが加速している
- ・ものづくりの基盤技術こそが、日本の優位性を守る大きな要素
- ・しかし、日本では基盤技術の弱体化が懸念されている
(中小加工メーカーの倒産、熟練工の引退など)→早急な対策が不可欠

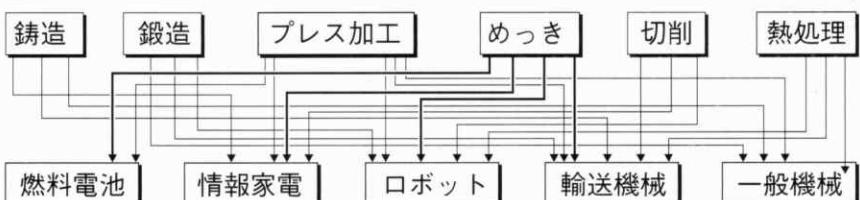
2 基盤技術とは

優れた基盤技術の例

- プレス加工技術 → 携帯電話用リチウムイオン電池ケース
めっき技術 → 燃料電池用電極触媒形成のための白金めっき
鋳造技術 → 自動車エンジン用シリンダーブロック

技術を活用した製品の例

3 基盤技術と川下産業の関係





と等は現状では困難であるものの、水生生物の保全に係る亜鉛に対する総合的な対策としては、それらの可能性についても長期的な課題として視野に入れるべきであること。
〔4〕国が主体となって技術的、政策的な支援、さらには官民一体となつた取組に努めること。特に、金属鉱業等鉱害対策特別措置法に基づく休廃止鉱山の鉱害防止対策については、今後も引き続き計画的な事業の実施等に努めること。

勤労者の財産形成の支援

重要な財産形成

豊かで安定した勤労者生活の実現のためには、労働条件の改善や社会保障の充実とともに、勤労者の貯蓄や持家などの財産の形成の促進が重要です。

勤労者財産形成促進制度（財形制度）

財形制度とは、勤労者が自助努力によって貯蓄をしたり、持家を取得して財産を形成する場合に、国が財政及び税制の面から援助し、事業主の協力と相まってこれらを促進しようとするものです。

財形制度は、勤労者が計画的にお金を貯める「財形貯蓄制度」、財形貯蓄を行っている勤労者に住宅取得資金や教育資金を融資する「財形融資制度」、財形貯蓄の利用促進をお手伝いする「財形給付金・基金等制度」からなっています。

独立行政法人雇用・能力開発機構では、これらの財形融資資金の融資、勤労者財産形成助成金等の支給や財形制度の普及促進を行っています。

勤労者財産形成促進制度の概要



財形貯蓄 制度 貯める

勤労者財産形成促進制度

●財形貯蓄には次の3種類があります。

1 車に旅行に結婚に、あれこれ使える 一般財形貯蓄

加入資格：勤労者（複数契約可）

資金使途：自由

積立方法：毎月の給料や夏・冬のボーナスから天引き

積立期間：3年以上

2 マイホームが欲しい人に、利子非課税の 財形住宅貯蓄

加入資格：満55歳未満の勤労者で、他に住宅財形契約をしていない方（一般財形、年金財形との併用はできません。）

資金使途：(1)住宅の新築

(2)住宅の購入（一戸建て、マンション）

(3)工事費が75万円を超える増改築

積立方法：毎月の給料や夏・冬のボーナスから天引き

積立期間：5年以上

3 老後の備えに利子非課税が使える 財形年金貯蓄

加入資格：満55歳未満の勤労者で、他に年金財形契約をしていない方（一般財形、住宅財形との併用はできません。）

積立方法：毎月の給料や夏・冬のボーナスから天引き

積立期間：5年以上

受取期間：満60歳以降に5年以上20年以内
(保険商品の場合、終身受取もあります)

据置期間：積立終了から受取開始までの5年以内

●貯蓄上のメリット

勤労者その1 利子非課税

財形年金貯蓄と財形住宅貯蓄は合わせて元本550万円（財形年金貯蓄のうち、生命保険等に係るものにあっては払込ベースで385万円）から生じる利子等が非課税とされます。さらに、財形年金貯蓄については、年金の支払が終るまで非課税措置が継続され、老後生活の安定に役立ちます。

勤労者その2 財産づくり

賃金からの控除（天引）ですから直接銀行などへ出かける手間がはぶけ、知らず知らずに財産づくりができます。

勤労者その3 特典

財形持家融資や財形教育融資の融資制度や財形活用助成金などを利用することができます。

事業主 福利厚生の充実

■従業員の貯蓄意識を喚起し、勤労意欲が高まります。

■社内融資制度の資金を公的融資から調達するみが開かれます。

■従業員の定着性を高め、優秀な人材確保にも効果的です。

●財形貯蓄を実施するには

財形貯蓄は、事業主を通じて行う必要があります。手続きは、財形貯蓄のための賃金控除について労使協定を結び、貯蓄取扱機関を選定した上で取扱協定書を交わします。また、財形年金貯蓄、財形住宅貯蓄についての届出書を所轄税務署長に提出します。詳しくは、財形貯蓄取扱金融機関にお問い合わせ下さい。

●転職等をした場合は

財形貯蓄契約を締結している勤労者が転職等により勤務先を異動した場合には、継続的な貯蓄を着実に行うことができるようになりますため、2年内に所定の手続きを行うことにより、異動前の勤務先で締結していた財形貯蓄契約に基づく積立金を異動後に締結した財形貯蓄契約に預替えて、両契約の積立期間を通算することができます。この場合、財形年金貯蓄・財形住宅貯蓄については、利子等に係る非課税措置も継続されます。



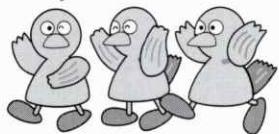
产学連携支援センター埼玉

2006/6/8 オープン

こんなことで迷っていたら・・・

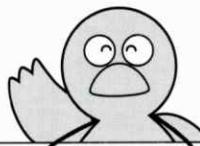
製品開発イメージはあるが、具体的な技術情報や情報が不足している。

大学等の研究成果を活用したい。



他の企業と共同で研究開発したい。

公的資金を活用したい。



お任せください。
とことん支援します。



*産学連携支援センター埼玉、埼玉県及びさいたま市が共同で設置し、
(財)埼玉県中小企業振興公社及び(財)さいたま市産業創造財団が運営します。

原
瓦氏
組合前理事長、大和電機工業(株)
全国鍍金工業組合連合会 前副
会長、現顧問、長野県鍍金工業

旭日小綬章 受章

笹野不二夫氏
全国鍍金工業組合連合会 前会
長、現常任顧問、愛知県鍍金工
業組合理事長、白金鍍金工業(株)

旭日双光章 受章

政府は4月29日春の叙勲受章者を
発表した。めつき業界から次の方
が受章の栄に浴された。

**春の叙勲
受 章 者**

NEW ポリテクセンター埼玉で講習をうけてみませんか？

オーダーメイド型セミナー受付中!!

当センターでは、

機械系分野、電気・電子系分野、情報・通信系分野などの
セミナーを開設しております。

※これらのセミナーは一般公募(本パンフレット掲載コース)で実施するほかに、
1コースあたり5~10名程度にまとめてお申し込みいただいた場合は、
オーダーセミナーとして実施することもできます。

◎講習内容・時期・費用等は是非ご相談ください。

2~3日程度のセミナーの場合

1人あたり10,000円~25,000円程度で実施できます。
パンフレット掲載コースはパンフと同額です。

問い合わせ先：訓練第二課受講者第二係 TEL 048-882-4003 FAX 048-882-4070

キャリア形成促進助成金制度概要についてのご紹介

事業主が、労働者の“職業能力開発”を計画的に促進する場合で、計画の実施前に申請手続を行い、かつ、助成の条件を満たすことにより、ご活用いただける“事業主に対する”助成金制度としてご紹介します。ここでは、その制度概要をさらに要約した説明をさせていただいておりますので、詳細につきましては必要に応じて説明会をご活用下さい。なお、制度改正等による変更もあり得ますのでご承知おき下さい。

I. キャリア形成促進助成金の構成について

職業能力開発の区分毎に、次の4種類の“給付金”によって構成されています。〔助成額については、別途、限度額等の制限があります。〕

1. キャリア・コンサルティング推進給付金

●専門機関等への委託や企業内に有資格担当者を配置することによって、有資格者がキャリア・コンサルティングを実施する場合です。

助成額=	〔経費〕：① 専門機関等への委託では委託費の1/2。 ② 企業内に有資格担当者を配置する場合は15万円。 〔賃金〕：受ける時間帯の賃金の1/4（1/3）。
-------------	---

2. 職業能力評価推進給付金

●定められた職業能力評価（検定）を受けさせる場合です。なお、事前に評価受検に関する訓練を受けている者が助成の対象となります。

助成額=	〔経費〕：受検料の3/4 〔賃金〕：受検時間帯の賃金の3/4
-------------	-----------------------------------

3. 職業能力開発支援促進給付金

●就業規則又は労働協約に定める“自発的職業能力開発支援制度”的うち“経費（支援）制度”“職業能力開発休暇（支援）制度”に基づき、事業外機関等が実施する「キャリア・コンサルティング」「職業能力評価（検定）」「職業訓練」を受けることを支援する場合です。その他、当該支援制度の「導入・活用」「活用促進」を奨励するための措置もありますが、その奨励措置のうち、大企業が活用できるのは、“自発的職業能力開発支援制度”的うち“職業能力開発休暇（支援）制度”的導入・活用のみです。

助成額=	〔経費〕：支援額の1/4(1/3) 〔賃金〕：受ける時間帯の賃金の1/4(1/3)	〔導入・活用〕： 奨励額として、各制度15万円+活用費1人5万円 〔活用促進〕：奨励額として、活用者1人2万円
-------------	--	---

4. 訓練給付金

●職業訓練を受けさせる場合です。訓練のレベル（高度・基礎）区分によって助成条件の設定が異なります。

助成額=	〔経費〕：受講に必要な経費（受講料等）の1/4(1/3) 〔賃金〕：受講時間帯の賃金の1/4(1/3)
-------------	--

お問い合わせ：雇用・能力開発機構埼玉センターキャリア形成促進助成金担当 TEL048-882-4101

これまで申請を頂いている事業主各位の適切な申請実績のおかげを持ちまして、徐々に手続の簡素化がなされているところですが、それでも、初めての申請では、手続に要する期間に1~2週間程度を見込んでおいた方が良いようです。《2006.5.24現在版》

平成18年度

今後の組合行事予定

- ▽11月10日（金）午後3時
第3回環境保全対策委員会（於組合会議室）
- ▽11月19日（日）～20日（月）
視察研修旅行
- ▽9月7日（木）午後12時30分
第3回三役会（於組合会議室）
- ▽9月7日（木）午後2時
第1回支部長会（於組合会議室）
- ▽9月8日（金）午後3時
第2回環境保全対策委員会（於組合会議室）
- ▽9月15日（金）午後2時
第2回技術教育委員会（於組合会議室）
- ▽10月5日（金）午後2時
第3回総務委員会（於組合会議室）
- ▽10月6日（金）
全鍍連関東甲信越静ブロック会議
- ▽10月12日（金）午後1時30分
公害防止管理者研修会（於大宮サンパレス）
- ▽10月15日（金）午後2時
- ▽1月24日（水）午後2時
賀詞交歓会
- ▽2月7日（水）午前11時
支部長会・推薦会議
- ▽2月7日（水）午後1時30分
埼玉県めつき競技会及び排水管
- 理優良事業所表彰式
- ▽3月16日（金）午後2時
推薦会議（於組合会議室）
- ▽3月22日（木）
第2回理事会（於組合会議室）
- ▽4月18日（水）午前10時30分
会計監査（於組合会議室）
- ▽4月24日（火）午前12時30分
第4回常任理事会（於新道山家）
- ▽4月24日（火）午後3時
第4回理事候補者会議
- ▽5月23日（水）午後1時30分
第42回通常総会（於大宮サンパレス）
- ▽平成19年
1月24日（水）午前11時30分
第4回総務委員会（於大宮サンパレス）
- ▽4月24日（火）午後2時
第5回常任理事会（於組合会議室）
- ▽4月24日（火）午後3時
第4回理事会（於組合会議室）
- ▽5月23日（水）午後1時30分
第42回通常総会（於大宮サンパレス）
- ▽6月10日（土）午後6時
「鍍金会」は6月10日（土）午後6時よりラフレシアいたま4階・檻の間において平成18年度定期総会を開催し、役員の改選を行い第19代会長に出野哲也氏（株）大宮鍍金工業を選任した。

埼玉県鍍金工業組合青年部「埼玉県鍍金工業組合青年部「



表紙の写真は

埼玉県防災学習センター

所在地

北足立郡吹上町大字袋30

TEL

048(549)2313

吹上駅から徒歩25分
休館日は毎週月曜日（祝日、県民の日は開館）

埼玉県防災学習センターでは大地震シミュレーションができる

「地震体験室」や台風の脅威を肌で感じる「暴風雨体験室」など、防災についての基礎知識や災害時の対処法が無料で体験学習できます。

18年度活動テーマ

「修練と行動で変化する時代に
チャレンジしよう！」

第5回総務委員会

■計報 嶋田 城治さん

（有）嶋田鍍金研究所 代表取締役
埼玉県鍍金工業組合元理事

平成18年7月14日逝去
享年64歳

饗場 幽美子さん
（株）潮工業 取締役社長饗場功治
ご母堂

平成18年4月28日逝去
享年64歳